



ながまをひやそう ながまとつどおう



第2220号

編集兼発行人
埼玉県教職員組合
情報宣伝部
さいたま市浦和区高砂
3-12-24教育会館内
電話048(824)2511
(一部10円)
毎月15日発行

(組合員の購読料
は組合費に含む)

▽埼玉教組へメール



▽埼玉教組HP



修学旅行など、以前のとりくみが
できるようになり、子どもたちの喜
ぶ声が聞こえてきます。半面、コロ
ナ禍の被害も見えてきました。上手
にコミュニケーションが取れずに困っ
ている子どもたちや、ストレスを抱
えて悩んでいる子どもたち。未だ、
コロナと共存する状況での教育実践
は困難を伴います。お疲れ様でした。
第1期加入促進月間では、旺盛な
とりくみが報告されました。ご紹介
します。

① 組合員を増やすとりくみ

◎積極的な声掛け

□県内各地で、単組・分会・専門
部など、日ごろのつながりをも
とに直球勝負。加入に結び付き
ました。

◎学習会の企画、未組合員への誘い
掛け

□南支部、北支部、西部支部など
では、教研集会や連続学習会が
実施されました。事前に広く呼
びかけ、盛況でした。

◎事務職員部や栄養職員部、障害
児教育部でも学習会を実施しま
した。未組合員も数多く参加し
ていました。青年部や養護教員
部、女性部でも今後、予定され
ています。

□富士見・東松山・大里・上尾・
秩父・川口・蕨では、教員採用
試験対策の学習会が開かれ、た
くさんの臨採者の方が参加して

います。

□北埼玉では、北村委員長を講師に
職場ハンドブック学習会を実施
しました。未組合員の青年も交
え、権利についての学習をし
ました。

◎未組合員を誘った企画

□直接つながることが増えてきま
した。桶川では呑み会を実施し、
未組合員6名が参加しました。

◎アンケート用紙をもとにした対話

□西部や北埼玉では、アンケート用
紙をもとに対話を進めました。
比企では、電話での対話しま
した。

◎ニュースの発行・配布

□春日部や上尾、富士見、比企、
入間などでは、精力的にニュー
スを発行し、配布しました。春
日部では、空白分会への配布も
行いました。

◎共済説明会の開催

□八潮では、執行委員会を学校持
ち回りで開催しており、それに
合わせて会場校で共済説明会を
実施しています。先日は、3名
の共済加入がありました。

② 組合を強くするとりくみ

◎全員集会の実施

□北ブロック(久喜・幸手・杉戸・
白岡)では、月末の金曜日に蕎
麦屋さんで会議を実施していま
す。今回は11名が参加し、分会
の様子を交流しました。

◎単組合同に向けての集い合い

□三郷・八潮・吉川では単組代表
が集まり、合同学習会の計画等、
単組合同に向けての集い合いを
進めています。

いよいよ夏休み。つながりをつく
り、強くするためのチャンスです。
ぜひ、積極的にとりくみを持ちましょ
う。

増やしましょう

□拡大にとりくむ組合員のすそ野
を広げましょう。

□学習会や共済説明会を企画し、
積極的に誘いましょう。

強くしましょう

□職場に組合の風を。(校長交渉・
要請書・会議での発・分会揭示
板)

□合同分会・分会訪問をしまし
よう。

活用しましょう

□様々な促進費・支援費を活用し
ましょう。

□新規組合員の組合費減額も積極
的に活用しましょう。

現勢回復目標376人まで、あと
86人。総目標442人まで、あと1
52人。ぜひ、この夏も多くの組合
員を迎え、組合員のつながりを強く
しましょう。

夏のおでかけ前に 車と保険の確認を!



こんにちは、むさしの保険事務所の川村です。

さて、いよいよ子どもたちが待ち望んでいる「夏休み」の時期が近づいてまいりました。

今年は梅雨入りから猛烈な暑さが続き、教職員の皆様方現場の多忙化と相まって精神的にも体力的にも例年に増してご負担がかかっているのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスがまた増え始めたとのニュースもある一方、ここ数年にない人出で市街地も行楽地も人出が多くなってきております。この間、増えてきた宅配の自転車や子どもを乗せた電動自転車に加え、子どもたちの遊ぶ姿も増え、いつもの道の状況も一変します。

自転車も道路交通法上「車両」ですが、その手軽さゆえほぼ交通ルールが守られない運転が見られるのは事実です。しかし、相手に非があり、自転車保険が義務化されているとはいえ自動車運転中に接触してしまえば、責任の多くが自動車側の運転者に掛かってくるのが現状です。

このような自転車や歩行者との軽微な事故の際にも「警察届出」は必須です。お相手様が動揺し、車に傷をつけてしまったという思いで、仮に「大丈夫」といって立ち去ってしまっても必ず警察に通報し

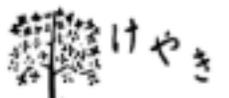
記録が残るようにしてください。万一通報せず、後になってお相手様から警察に事故の連絡があれば一転して「当て逃げ」「ひき逃げ」の加害者となってしまいう可能性があります。ご自身の身を守るという点でも、事故の大小に関わらず警察への届け出を必ず行ってください。

また、この暑さからお車のトラブルも急増します。その際レッカーを呼んで搬送や応急修理を依頼していただくこととなります。救助する場所の特定や無駄な出費を防ぐため、必ずご加入いただいている保険会社のロードサービス(JAFの会員になられている方はJAF)にご連絡ください。ロードサービスにご連絡されずにご自身で手配をされますと事後にはサービスが受けられず思わぬ自己負担が発生することがあります。

全教自動車保険にご加入いただいている皆様には、ご契約の際やご更新のたびに「全教自動車保険アシストカード」と「アシストガイド」をお届けしています。事故時や故障時にロードサービスを依頼される時のフリーダイヤルやご利用いただけるロードサービスの内容が書かれておりますのでダッシュボードの中に保管しておいていただき、万一の際にお役立てください。

暑い夏は、集中力もついつい途切れがちです。疲れが抜けないうちでの運転はとて危険です。先日も教職員のご家族の方が直線道路走行中、工事で片側交互通行の規制中に前方の車列が止まっていることを見落として、4台が絡む玉突き事故が発生しました。幸いにも入院するような怪我人は出ませんでした。状況によっては誘導員を巻き込む重大事故になっていた可能性があります。

事故は気を付けていたとしても起こりうる可能性のあるものです。夏の暑い日々がよい思い出になるよういつも以上に安全運転でお過ごしください。



先日、初
めて国立ハ
ンセン病資
料館に行き
ました。家
族から引き
離され、生活の自由や結
婚・出産という人権を奪
われて生きなければなら
なかったこと。自分の体
が徐々に、知覚麻痺や運
動麻痺を起し、失明や
手足の切断もありうるこ
と。絶望の中で命を落と
した人が、たくさんおら
れたことを改めて知りま
した。▼企画展には、自
助具や義肢等の展示もあ
りました。自分たちで作っ
たブリキの義足をほき、
また自ら立ち上がる人々
を想い、強い衝撃を受け
ました。「社会復帰のみ
が更生ではない。歩けな
いものが歩き、箸を持
たなかった者が箸を持ち、
フォークを持つことが
更生である。自主自由と
はかかることを意味しな
ければならない。」展示
室に飾られたメッセージ
に、人間の尊厳について
考えさせられました。▼
誰もが平等に、自分の人
生を自分のものとして生
きる権利をもつことの重
切さを、噛みしめる一日
となりました。(ま)

憲法の行方は..?



「平和」「暮らし」「憲法」「民主主義」を争点にした参議院選挙の投票率は52.05%で、開票結果が明らかになりました。自民63(改選比+8)、公明13(―1)、立民17(―6)、維新12(+6)、共産4(―2)、国民5(―2)、れいわ3(+3)、社民1(+0)、Z党1(+1)、諸派無所属6というものです。

自民・公明・維新・国民などの改選勢力は、非改選の84議席と合わせて、参院定数の248の3分の2を超えることになり、国会発議できる議席数を得ることになりました。

参院選の共同世論調査(7/12埼玉新聞)では、国民の投票行動は①物価高騰対策(41.6%)、②年金・医療・介護(15.9%)、③子育て・少子化対策(10.7%)が多い理由で、憲法改正を理由にした投票行動は3.6%と少数です。にもかかわらず岸田首相は「国会で憲法論議を深めて、発議できる案をまとめる努力に集中したい」と改選をあらわにし、茂木幹事長は「できるだけ早いタイミングに尽きる。憲法改正に前向きな政党との間で、どの項目を優先するか、どういうスケジュールを進めていくのかの認識の共有を図っていく」と作業日程まで見据えています。

選挙期間中に与党は「軍事費2倍化」と言っていました。財源は示しませんでした。有権者は、軍事費増のために教育や暮らしが圧迫されることを、岸田政権に白紙委任をしたわけではありません。

選挙結果と選挙後の改選勢力の発言等から、平和憲法を変えさせてしまおうのかどうかの、歴史上初めてのたたかいを迫られることになりました。「憲法は希望」であり、平和を愛した私たちがけっして改憲を望みません。

埼玉教組は、今後、憲法を守り生かすための学習、宣伝、運動をとりくむの中心に位置づけていきます。草の根から、改憲反対のとりくみを展開するならば、多数の国民とともに必ず改憲を阻止することはできると確信します。

5月に行った憲法闘争大学習会の第2弾として、学習会を計画しました。誰でも参加することができ、今から予定を立て、仲間を誘い、改憲阻止のためにつながるの輪を広げましょう。

教育文化研究所コーナー

ロシアのウクライナ侵略に開き「戦前の日本と同じだ」との指摘があります。果たして私たちは、日本の戦争についてどれだけ知っているのでしょうか。

演劇から日本の戦争を学ぶ

8/17から「生き残った子孫たちへ 戦争六篇」が東京藝術劇場で上演されます。戦争や社会的事象をモチーフに、緻密な調査に基づき描かれる古川健の劇作と、人間味を凝縮させる日澤雄介の演出で、数々の

の話題作を送り出してきた劇団「チョコレートケーキ」の主催です。(詳細はHPを参照)

『帰還不能点』日米開戦前にすでに日本の敗戦を予測していた文官たちのお話です。首相近衛文麿、外相松岡洋右を中心に展開されます。「追憶のアリラ

「南京事件」の責任者として、極刑判決を受けた松井岩根陸軍大将の最後の日々。東京裁判では明らかにならなかったA級戦犯の矛盾に迫ります。新作「ガマ」太平洋戦争において最大最悪の地上戦といわれる沖繩戦。激戦地首里から数キロ北にそのガマがあった。短編2本立て『〇六〇〇猶二人生存ス』その類、熱線に

埼玉教組
憲法闘争学習会
講師 前川喜平さん
(元文科省事務次官、
現代教育行政研究会代表)



テーマ 「憲法と教育」

日時：11月3日(木)10時～
場所：埼玉教育会館2階
参加費：無料

*元文部官僚の前川さんは憲法を守る運動を広げるために、全国で講演をしています。今年のオール埼玉総行動(6/5)でも、参加者に勇気を与えてくれるスピーチをしてくださいました。

2022平和のための埼玉の戦争展

■埼玉会館小ホール
8月4日(木)10:00～20:00

■オンライン配信(zoom)URL
8月3日(水)、5日(金)、7日(日)

■詳細は以下までお問い合わせください
☎048-825-7535 / peace@kikanshi-nw.or.jp

誰もが平和で安心して暮らせる世界に...

みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい 全国集会2022 in高知 8/18(木)～21(日)

子どもたちが長期休業に入ると教職員にはまとまった自主研修のチャンスです。学校や当該地域における教育活動から、世界の教育事情や全国の教育実践にも触れることができます。その格好の機会が「教育のつどい全国集会2022in高知」です。

2020年は開会全体集会のみオンライン配信、2021年は全日程をオンライン開催とし、コロナ禍でも絶やさずに行ってきた経験を生かした今年度の「教育のつどい全国集会」です。埼玉教組からは、5人の司会者と12人のレポーターが成功のために力を尽くします。

一般参加を希望する方にご連絡です。日程と参加形態は次の通りです。

- ・8月18日(木)19:00～20:45
田中優子さん(法政大学名誉教授)
「多様性を包み込む社会へ」完全オンライン(無料)

- ・8月19日(金)18:30～20:30 5つの教育フォーラム
会場参加とオンライン参加(無料)
A「どの子にも豊かな子ども時代を」
B「GIGAスクール構想・教育DXをジャックせよ」
C「子どもの多様性を尊重するとは」
D「平和な未来を子どもたちとともに」
E「開かれた学校づくり」
- ・8月20日(土)10:00～17:00
8月21日(日)9:30～16:00分科会
有料1000円(組合員は無料)

*参加希望の方は埼玉教組本部へ問い合わせをしてください。オンライン対応・集合型は分科会により異なります。参加者には後日に参加券とID・パスコードを送付します。

